

Cisco IOSソフトウェア TCP サービス拒否の脆弱性

High

アドバイザーID : cisco-sa-20100812-tcp

[CVE-2010-2827](#)

初公開日 : 2010-08-12 21:30

バージョン 1.1 : Final

CVSSスコア : [7.8](#)

回避策 : [Yes](#)

Cisco バグ ID : [CSCti18193](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco IOS[®] ソフトウェア リリースは TCP 確立 フェーズの間にサービス拒否 (DoS) 脆弱性から、15.1(2)T 影響を受けします。脆弱性により萌芽期 TCP 接続は SYNRCVD または SYNSENT 状態を維持します可能性があります。これらの状態の十分な萌芽期 TCP 接続はシステム リソースを消費し、影響を受けたデバイスが許可するか、またはデバイスへのあらゆる TCP ベースの遠隔管理 アクセスを含む新しい TCP 接続を、開始することを防ぐ可能性があります。

認証がこの脆弱性を不正利用するために必要となりません。攻撃者はこの脆弱性を引き起こすために 3方向ハンドシェイクを完了する必要はありません; 従って、この脆弱性はスプーフィングされたパケットを使用して不正利用することができます。この脆弱性は正常なネットワークトラフィックによって引き起こされるかもしれません。

Cisco はこの脆弱性に対処するために Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.1(2)T0a をリリースしました。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100812-tcp> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco デバイスは Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.1(2)T を実行しているとき脆弱です。Cisco 製品で稼働している Cisco IOS ソフトウェア リリースを確認するには、機器にログイン

し show version コマンドを実行してシステムバナーを表示させます。"Internetwork Operating System Software"、"Cisco IOS Software" あるいはこれらに類似するシステム バナーによってデバイスで Cisco IOS ソフトウェアが稼働していることを確認できます。その後ろにイメージ名が括弧の間に表示され、続いて "Version" と Cisco IOS ソフトウェア リリース名が表示されます。他の Cisco 機器では、show version コマンドがない場合や、表示が異なる場合があります。

次の例は C2800NM-ENTSERVICES-M のインストール済みイメージ名前と Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.1(2)T を実行している Cisco 製品を指定したものです：

```
Router#show version
Cisco IOS Software, 2800 Software (C2800NM-ENTSERVICES-M), Version 15.1(2)T,
  RELEASE SOFTWARE (fcl)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright © 1986-2010 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 19-Jul-10 16:38 by prod_rel_team
```

<output truncated>

Cisco IOS ソフトウェア リリース 命名規則についてのその他の情報は [白書](#) で利用できます：
[Cisco IOS レファレンスガイド](#)。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他の Cisco IOS ソフトウェア バージョンはこの脆弱性から影響を受けません。

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2010-August-12	初回公開リリース
--------------	----------------	----------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。